



K20シリーズ/個別注意事項①

ご使用前に必ずお読みください。

「安全にお使いいただくために」および共通注意事項も併せてご確認ください。

ソレノイド配線仕様

⚠ 注意

直接配管形 (K20R)、サブベース配管形 (K20P) の配線は、DIN端子を使用して行います。

サージキラーはソレノイド部へ内蔵されています。

• DINコネクタ (D)

• DINコネクタ/ランプ付 (DP)



• DINコネクタなし (Q)



マニホールド配管形 (K20G) プラグイン形のマニホールドの場合は、451頁を参照してください。

DIN端子の結線方法

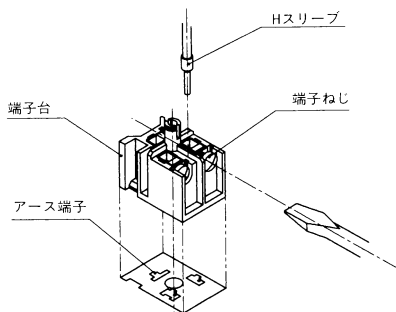
⚠ 注意

配線作業を行う前に、必ず電源を切ってください。

DIN端子の配線は、内蔵されている端子台の端子1と2に結線してください。結線に際しては、皮をむいた電線の先端にHスリーブをかぶせ、端子ねじの先端で締付けてください。

端子ねじの頭を使っても固定はできませんのでやめてください。

Y端子、めがね端子は使用できません。



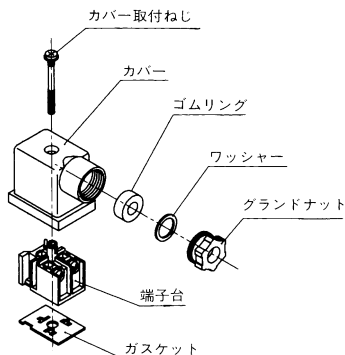
種 類	仕 様
Hスリーブ	H0.5/12 040950 0.5mm ² (AWG20)
	H0.75/12 040960 0.75mm ² (AWG18)
	H1.0/12 040970 1.0mm ² (AWG17)

上記Hスリーブは日本ワイドミューラー製です。

端子ねじの締付トルク 0.5N・m

ケーブルの取出し

⚠ 注意



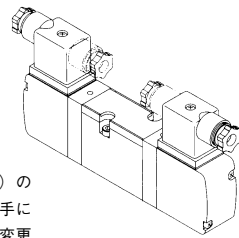
適用キャブタイヤケーブル ケーブル外径 $\phi 6 \sim \phi 7\text{mm}$

カバー取付ねじの締付トルク 0.3N・m

ケーブル取出し方向の変更

⚠ 注意

サブベース配管形 (K20P) の場合は、端子台からカバーを取外し、180度回転して取付けることができます。



直接配管形 (K20R) の場合は、ポートの継手に干渉してしまうため変更はできません。

マニホールドの許容背圧

⚠ 注意

マニホールドは、パイロット集中排気構造になっていますので、パイロット排気ポート (ポートY、YA、YB) の圧力が高くないように注意してください。

10連以上のマニホールドの場合で、5台以上の電磁弁を同時に作動させる場合は、供給流量と排気流量を確保するためにポート1、3、5、Yにはマニホールド本体両側に配管してください。



K20シリーズ/個別注意事項②

ご使用前に必ずお読みください。

『安全にお使いいただくために』 および共通注意事項も併せてご確認ください。

ランプ、サージキラー

⚠ 注意

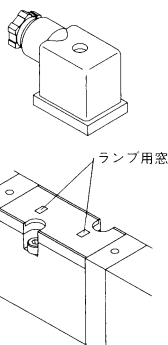
●標準形（ノンプラグイン形）

DINコネクタ内の端子台にランプを取付けてあり、透明カバーを通して通電状態（ON-OFF）を確認できます。

サージキラーはソレノイド部に内蔵しています。

●プラグイン形

ボディ内部にランプ、サージキラー基板を搭載しており、ボディ上面より通電状態（ON-OFF）を確認できます。



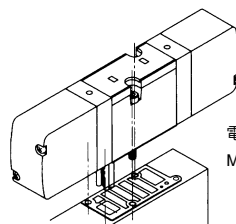
電磁弁の交換

⚠ 注意

取外し

①電磁弁本体の取付ボルトをゆるめて、本体をまっすぐに引き抜いてください。

②プラグインタイプの電磁弁の場合は、特に注意してください。斜めに引き抜くとプラグ部分を損傷することがあります。



取付け

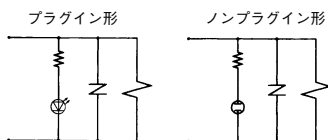
①電磁弁を取付ける場合は、本体のピン位置に合わせて挿入した後、取付ボルトで締付けてください。

②プラグインタイプの電磁弁の場合は、本体のピン位置に合せると同時に、レセプタクルにプラグをまっすぐに差し込んでください。斜めに差し込むとプラグ部分を損傷し、故障の原因となります。

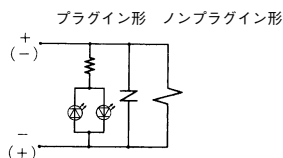
ランプ、サージキラー付ソレノイド内部回路

⚠ 注意

ACの場合



DCの場合



DCはバイポーラ形ですので、プラス・マイナスの極性を選びません。

取付

⚠ 注意

取付け姿勢は自由ですが、本体に衝撃や振動が直接かからないようにしてください。

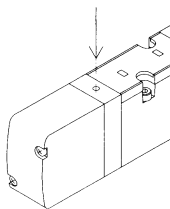
ダブルソレノイドや3位置電磁弁の場合は、主弁（スプール）が水平になるように取付けてください。

手動操作

⚠ 注意

●ノンロック式（標準）

先端の細いものでマニュアルロッド（青色）をプッシュすると、ソレノイド通電時と同じ状態になります。



●ロック式/ロッキングボタン

（オーダメイド）

マイナスドライバでロッキングボタン（赤色）をプッシュすると、ソレノイド通電時と同じ状態になり、プッシュしたまま90°回すとロックされ、切り換え状態を保持します。

